MORLIN
森松株式会社社内報

2018年9月
No. 399号

波紋

創刊 1985年（昭和60年）

http://morlin.sakura.ne.jp
http://www.morimatsu.net

森松株式会社　社内報
No:　399　平成30年8月27日
編集者
大石耕平　小坂美香　間部将大
加藤俊輔　則武恵秀　大脇勝治
久野絢一朗

第26回元気が出る森松展

◆テーマ　樹脂力（じゅしりょく）

◆講演会　9月14日（金）14：00～
「海洋プラスチックごみ汚染の現状と対応について」
講師：日本ビニル工業会　部長　鈴木　環

◆日程　9月13日（木）13:00～17:00
9月14日（金）9:00～17:00
9月15日（土）9:00～12:00

皆様のご来場をお待ちしております!!

新しいアイデア

森　直樹（代表取締役社長）

得意先様が例年開催している大学との産学連携活動に中部文具工業協同組合より参加させていただきました。この活動は同校のプロダクトデザインを担当されている先生のゼミ内の活動として行われており、まずゼミ生の皆さんに対して弊社の扱う商材、加工技術、製品を紹介。そして、こちらが提案を希望するテーマの発表。ラフな提案を事前に頂きつつ、約3か月で製品アイデアのプレゼンをしていただきました。もちろん実際の製品化に至るまでは技術的に可能でないもの、またその逆にすぐにでも実現可能な素晴らしいアイデアも頂けました。普段より同じような環境に身を置いていると、様々なことが見え過ぎてしまう結果、自分の中で勝手にアイデアを制限してしまう部分があります。もちろん技術的に製造可能かどうかという事とは別に、需要が果たしてあるのかどうか、売れるのか…など過去の経験からもアイデアに対してのマイナスの要素が出てくるでしょう。このようなマイナスの要素が新しい事に対しては不要です。とにかくまず前に進む事、リスクを取る事が出来なければ新しい事は出来ません。製造するための技術開発も、販売先を見つけるための営業活動もコストであり、リスクとも言えます。しかしそれも裏を返せば、将来のための投資と考えられるでしょう。自分自身、同じ業界の中で長く過ごしている結果、余計に考え過ぎている事に気が付きました。まずやってみる事、トライしてみる事の大切さを改めて気付かせて頂いた、貴重な機会でした。

なんじゃ この暑さ

光田　昭男（企画営業部）

名古屋は暑い。午後から営業に出掛ける時には、営業車のOUT TENPの表示温度が45度になっている。今までに見たことが無い数字だ。ハンドルも熱くてすぐには触れない。出発時には、熱い熱いと、ハンドルを触りながら出かけています。ウインドシェードで対策をしている方もいらっしゃいます。私は面倒なので取り付けたことがありませんが、車内の温度は変わるのでしょうね。「夏日」「真夏日」「猛暑日」「酷暑日」「熱帯夜」違いがわかりますか？一日の最高気温が25度以上の日を「夏日」、30度以上の日を「真夏日」、35度以上の日を「猛暑日」「酷暑日」というそうです。「熱帯夜」は夜間の最低気温が摂氏25度以上。名古屋は猛暑日が続いています。ビニールシートにとっても裁断時でのサイズに気を遣い、お客様との打合せで加工方法と用途を確認しながらサイズを決定しています。サイズにとても厳しい条件がある場合があります。生地を大断ち後、数日間、放置してから裁断をするようにしています。クレームがあったお客様での管理も、出来るだけ涼しい場所での保管をお願いしています。現状では、私の担当先での収縮でのクレームは、1件です。やはりお客様との打合せが、上手くいっていることを感じます。社内の作業場は、温度差があります。倉庫以外とエアコンが壊れている場所以外は、冷房設備が整っていますが、エアコンが無い倉庫での作業は過酷なことになります。スポットクーラーを利用していますが、倉庫担当のアハマドさんは、毎日が過酷です。毎日、明るく作業をしていただいている様子なので、感謝です。私も休日には、猛暑日だが、Gをがんばっています。もちろん熱中症対策をとり、水分補給。服装も、長袖・長ズボンと日焼け対策も万全です。芝生の上は若干ですが、温度が低いと思います。流れるような汗をかき、お風呂は最高ですよ。猛暑日G是非どうぞ。

「不死身な私」から離れない「大親友ピロリ」

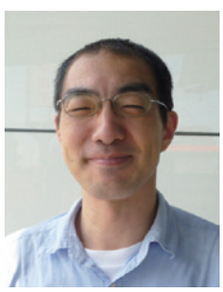
伊東　郁二（特販部）

先日、胃カメラと大腸カメラの検査によりピロリ菌が発見された。まずはピロリ菌を除菌しないと治療が進められないとのこと。専用の薬を1週間飲み続けた後にピロリ菌の有無を調べるのだが、1回目は見事に失敗に終わってしまった。成功率は75％～90％だそうだ。一度は耳にしたことがある名前だが、正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ」と言うそうだ。ヘリコは、らせん形を意味するヘリコイドからきた言葉。バクターは、細菌を意味するバクテリアのことで、ピロリは、胃の出口の方をさす幽門（ゆうもん）のこと。ピロリ菌とは、「幽門にいるらせん形の細菌」であることが解かった。昔から、胃の中には強い酸（胃酸）があるので細菌はいないと考えられていた。しかし、ピロリ菌が出すウレアーゼという酵素が胃の中の尿素を分解してアルカリ性のアンモニアを作りだす。そのため、ピロリ菌のまわりの胃酸が中和されてしまい生息できることも解かった。オーストラリアの医師2名により、1984年に「コッホの4原則」が満たされピロリ菌及び胃炎や胃潰瘍などの胃の病気に深く関っていることが証明されたのだが、発見される100年前から菌がいることだけは解かっていたそうだ。証明するにあたり、医師自身で菌を飲み込んで証明している。素晴らしいの一言である。しかし、ピロリ菌の発生原因は未だにはっきりしない不思議な菌である。ピロリ菌の除菌に失敗したことを心配してくれOさんからLINEをもらった。経験談からヨーグルトLG21を飲むと良いこと、1日2本、朝と夜に飲んだことを教えてもらった。良いことは真似てみよう…！と欠かさず1日に2本、「LG21」を飲み続けています。まずは、『治る』と信じて飲むことが重要ですね。次の結果が楽しみです。ピロリ菌さえ除菌してしまえば、胃の病気になる確率は大幅に下がるとされています。皆さんも、ご注意ください。

※ちなみに「Oさん」は、明治の社員でも明治ヨーグルトレディーでもありません。

三連休

松井　宣和（製造部）



先月の3連休を利用して福島・仙台に旅に出かけてきました。早朝4時30分ごろ車で名古屋を出発中央道→長野道→北陸道→磐越道を経由し最初の目的地の福島県喜多方市へ。昼食は喜多方ラーメンが名物の坂内食堂に10時30分に並び始めましたが、すでに30人ぐらい並んでいました。午前7時から営業している創業昭和30年の有名店です。麺は平打ち麺、スープが金色でとてもあっさりした味だが、見た目よりしっかりとしたコクがあり、チャーシューは極厚でおいしかったです。その後、会津若松市へ行き、鶴ヶ城の見学をしてきました。お城は5層建近代的（鉄筋コンクリート）で、中に入ると会津に関わる展示室があり、天守は会津の街並みが眼下に広がり綺麗でした。続いて仙台へ足を延ばして青葉山城跡へ。初代藩主伊達政宗が築城。城跡からは仙台市内を一望することができました。よくテレビで出てくる伊達政宗騎馬像があり記念撮影しようとしましたが、夕方近くだったので、逆光で残念でした。晩御飯は仙台名物牛タン。いつごろから有名になったのか？肉厚なのに歯切れのいい触感がおいしかったです、ずんだシェイクも豆のツブツブ感とバニラが絶妙で友達は追加注文していました。さて、今回の旅のメインは名所・名物でなく、福島県で行われている中央競馬で初めて行く福島競馬場でした。よその競馬場と比べるとこじんまりした馬場です。スタンドはガラス張りで空調が効くので（当日36度）快適でした。プレゼンテーターには元AKB の篠田麻里子様が来場。司会者のプレゼンでこんなにたくさんの人が集まったのは初めてだと、興奮気味に司会しておりました。さて、肝心の競馬の結果は8戦0勝残念！

W杯とJリーグ

柳原　瞬（裁断部）

ワールドカップが終わって一ヶ月以上が過ぎました。今回のワールドカップはロシア開催ということで、夜から深夜にかけての放送でした。遅い時間の試合を観る場合は早めに寝て深夜に起きて試合を観て、また少し寝る。そんな不規則な生活をしている方もいたと思います。自分もその一人です。四年に一度の事ですが毎回ワールドカップの際には無茶はしない程度に生活リズムを変えています。前回のブラジル開催の時には試合時間が日本は朝だったため、観る事ができなかったので今回はいい時間帯だったなと改めて思いました。観れない時間帯に放送される度に、また日本で開催してくれないかなと思ってしまいます。今度のカタールでは中東初開催で、内紛など様々な問題があるようですが無事に開催できる事に期待しています。試合時間はロシアと同じ6時間の時差なのでおそらくは同じような時間帯に行われるのだと予想しています。そして、Jリーグの話になりますがイニエスタがヴィッセル神戸に、F・トーレスがサガン鳥栖に移籍しました。Jリーグがこんなビッグネームを呼ぶ事なんてJリーグ発足以来じゃないかな。どちらもスペイン代表が2010年ワールドカップの時に優勝したメンバーなので知っている方も多いと思います。11月10日にはノエビアスタジアム神戸にて直接対決もあるので、チケットが当たったら観に行きたいと思っています。イニエスタといえばワインが有名でボデガ・イニエスタというワインがあります。だいぶ前に飲んだ事がありますが、味はいたって普通だった覚えがあります。手頃な値段でネットから注文できたり、イニエスタが移籍した事で色んな場所に置いてあるかもしれないのでこれを機会に飲んでみてはいかがでしょうか。

2018年度 新入社員紹介

大脇 勝治（おおわき しょうじ） 31歳 所属：製造部 入社日：H30.3.1

初めまして。大脇勝治と申します。カツジ・カツハルと間違えられますが、ショウジと読みます。
よく「老け顔」と言われますが柳原さんや間部さんと同じ31歳です。
しばらくはこれ以上老けずこのままの顔でいく予定です。自分にしかできない事を見出し、
森松に必要な人と言われる存在になるよう精進します。未熟者ですがよろしくお願い致します。

久野 絢一朗（くの じゅんいちろう） 25歳 所属：裁断部 入社日：H30.5.16

5月に入社した久野絢一朗といいます。大学時代は空手部に在籍しました。現在は私が卒業した
名古屋商科大学で空手部の専属コーチをしており、毎週月曜日には指導に行ってます。
好きなことは武道、格闘技です。観るのもやるのも好きです。
わからないことも多々ありご迷惑かけることもあると思いますがよろしくお願い致します。

村橋 敦士（むらはし あつし） 34歳 所属：経理部 入社日：H30.6.1

平成30年6月1日から入社しました村橋敦士です。前職は民間の調査会社で調査と営業に従事していました。家族は妻、長女(4歳)、長男(1歳)、私の4人構成です。趣味は中学時代から続けているソフトテニスで、現在も社会人チームに所属し、週末は家族皆で練習に行っています。
最後に、多々至らぬ点もあるかと思いますが、日々精進していきますので、宜しくお願い致します。

我が家の宝物

志水 満（特販部）

世界の豪華なディナーセットに使われる食器などの器を家内が集めている。娘の縁で知った、北欧のデンマークの陶磁器メーカー「ロイヤルコペンハーゲン陶磁器工房」（正式名称 The Royal Copenhagen Manufactory）の絵付けはすべて手書きで、製品の裏側にはロイヤルコペンハーゲンのマークとアーティストのサイン・シェ―ブナンバーが入れられている。古くから日本の古伊万里染付の影響を強く受け手書きによるコバルトブルー絵柄が特徴。1868年から制作されている下絵の手描きのブルーバターン「ブルーフルーテッド」はベストセラーのひとつで、ブランドの特徴である唐草模様バターンレース技徴は繊細で格調高く世界中で愛されているが、中でも特に日本人の人気を集めている。私も数年前にこの陶磁器工房に見学にきたことがあります。今も年に数回、数枚の絵皿のコ―ヒカップ等を送って来ます。家内が楽しみながら大切に保管しています。